



本年2月1日、当クリニックは開院19周年を迎えることができました。
 これからも、皆さまに満足していただける医療を提供できるよう、院長、スタッフ一同日々努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
 冬から春先にかけては、インフルエンザをはじめ様々な病気が流行します。マスクの着用やうがい、手洗いをしっかりと行って病気をもらわない、うつさないように心がけましょう。
 院内では感染予防のため、発熱中の方にはマスクの着用をお願いしています。
 1歳前後でまだマスクが上手にできないお子さまは、保護者の方がガーゼやタオルなどで口元をカバーしていただくよう、皆さまの協力をお願いします。



流行期を迎えたインフルエンザ！ よくある質問にお答えします！！



発熱しました。インフルエンザの検査はできますか？

インフルエンザに感染しても、発熱してから十分な時間が経過していないと体の中でウイルスが増えないため、検査をしても正確な結果が出ません。一般的にインフルエンザの検査は38℃以上の高熱が長時間継続していることが確認できてから行います。健康保険（未就学児無料）では、一度の発熱で2回のインフルエンザの検査を行うことができませんので、発熱後十分に時間が経過してから検査を行います。（発熱後十分に時間が経過していない時点での保護者希望の検査は、全額自費になる場合があります）

●インフルエンザに感染していても、発熱から6時間後の検査では大半が陰性、発熱から12時間後の検査で9割が陽性に出るといわれています。

●インフルエンザは、けいれんや呼吸困難と違い、一刻をあらそって診断を必要とするような疾患ではありません。早く診断をするよりも、確実に診断を行うべき疾患です。また、「発熱 = インフルエンザ」とは限りません。発熱直後でまだインフルエンザの検査ができない時間であっても、発熱があり体調不良のときは早めに受診しましょう。インフルエンザが疑われる場合は、解熱剤を使用せず、熱の経過を正確に記録して持参してください。熱の経過がわからない場合は、インフルエンザの検査ができない場合があります。



インフルエンザにかかりました。いつから登園・登校できますか？

- ① 治療開始（内服開始）から5日以上経過していること。
 - ② 解熱してから十分な時間が経過していること。
未就学児は解熱後3日、小学生以上は解熱後2日が経過していること。
- 以上の2つの条件がそろったらインフルエンザの治癒の目安となり、登園・登校できるようになります。



治癒証明がほしいときはいつ受診すればよいですか？

未就学児は解熱後3日目以降、小学生以上は解熱後2日目以降に受診して、治癒証明希望の旨を事前にお伝えください。（これ以前の受診では治癒証明は発行できませんのでご注意ください。）その際、発熱の経過を記録した「熱の経過表」が必要です。必ず持参してください。

- 来院時の感染予防にご協力ください。インフルエンザは隔離が必要な病気です。まだ治癒したと診断されていないときは別室にご案内します。入口のインターホンを押してください。家族や保護者などインフルエンザにかかっている人が一緒に来院している場合も別室にご案内しますので必ずお伝えください。
- 事前にインターネットからの問診入力（治癒証明希望の旨も記載）をお願いします。



日本脳炎、MRワクチン不足継続中！

入手困難状態が解消されず、入荷が順調になるまでまだ時間がかかる見込みです。接種希望の方は、受付または直通電話（097-556-1556）まで連絡をお願いします。右記の対象の方は優先案内を実施中です。母子手帳を開いて、受け忘れがないか確認しましょう。



<優先案内対象者>

- MRワクチン
 - ①今年度特例対象の方
（現在2～3歳未満の方、小学1年生の方）でMRワクチンが済んでいない方
 - ②2歳の誕生日が近い方、今年度MR2期対象の方
- 日本脳炎ワクチン
定期接種期限（追加接種7歳半まで）が近い方





しんじゅうせいずいまくえんきんかんせんしゅう

侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)について知っていますか？

「侵襲性髄膜炎菌感染症」とは、脳と脊髄を覆う髄膜の中の液体で満たされた空間内で引き起こされる炎症で、血液や髄液のような本来細菌がない場所から髄膜炎菌が見つかる感染症のことを言います。

この病気の特徴は「気づきにくい」「進行が早い」「死亡率が高い」ことです。初期症状は風邪に似ているため早い段階で治療を受けることが難しく、髄膜炎菌が血液や髄液の流れによって身体中に回ってしまい症状がどんどん悪化していきます。他の細菌と比べて100～1000倍の毒素を出すため症状の進みが早く、1,2日で意識がなくなりそのまま死亡してしまうこともあります。回復しても難聴、四肢切断、言語障害、知能障害など後遺症が残ると報告されています。

乳幼児と10代後半の思春期に発症のピークがあり、死亡率も10代で最も高くなります。

人と人が近い距離で長時間集まる場所で感染が広がりやすく集団生活、特に学校や寮、合宿所などでの共同生活での感染リスクが高くなることが知られています。

侵襲性髄膜炎菌感染症はワクチンで防ぐことができる病気です。ワクチン接種後4週間程度で抗体を獲得し、一回の接種で数年間は効果が持続します。接種希望の方は、受付または直通電話(097-556-1556)まで連絡をお願いします。

進学などで集団生活に入る前に是非、ワクチンの接種を検討しましょう。



進級・進学に向けて

準備は進んでいますか？

アレルギーで治療中の方は、進級・進学にあたり新たにアレルギーの診断書が必要になる場合があります。園や学校に確認し、早めに相談してください。

診断書は診察当日の作成、お渡しはできません。提出期日までに余裕をもって受診してください。



花粉症シーズン到来！



毎年2月ごろからくしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみなど花粉症の症状が出てきます。鼻水といえども悪化すると副鼻腔炎や中耳炎になることがあります。

花粉症対策として、症状が出始める前からシーズン終了まで(2～5月ごろまで)抗アレルギー剤の内服を続けることが有効です。大人の方(妊娠中は不可)も処方できますので、希望の方は受付にてお申し出ください。



予約はインターネットから。 問診入力を済ませてご来院ください。

受付直通の電話では、緊急の場合を除き、通常の診察の予約は受け付けていません。(予防接種・健診・アレルギー相談の予約は可)診察を希望される方は、インターネット予約をご利用ください。(ネット環境がなく予約ができない方は、予約なしで直接来院し、紙の問診票に記入してください。)

事前にネットで問診入力を済ませておくと、他の予約の方より優先され、待ち時間が短縮されます。問診入力がない場合(紙の問診票の利用)や修正がある場合は、予約されていても待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。



わかやまこどもクリニック
QRコード



インターネット予約は、携帯電話・ スマートフォン・パソコンから利用できます。

予約日の前日・当日も確認メールが届くので、予防接種の受け忘れを防げます。

24時間いつでもどこからでも予約が取れます。

あらかじめ問診を入力できます。

インターネットで事前に問診を入力しておくと、予約が優先され、待ち時間が短縮されます。

予防接種の履歴を入力しておくと、今、受けることができる予防接種の種類が表示されます。

当院の特徴

日曜診療

毎週 日曜日 13:00 まで
受付 12:45 まで

夜間診療

毎週 月・火・木曜日 20:00 まで
受付 19:45 まで
※夜間診療日は、診察準備のため16:30～17:00の間、一時休診します。(受付は可能です。)

祝日診療

11月～3月の祝日は診療します。
診察日・時間を確認のうえ、ご来院ください。

予防接種・健診専用待合室

病気の方とは別の部屋でお待ちいただけます。診療時間内いつでも実施可能です。(要予約)

24時間インターネット予約サービス

今後の予定

2月11日(日)

臨時診療
13時まで診療

2月12日(月)

臨時診療
13時まで診療

3月21日(水)

臨時診療
13時まで診療

